

妻ヶ丘中学校だより

令和5年2月13日 校長 深江 祐史

「立志の集い」が行われました

2月3日(金)午後からMJホールで、令和4年度第2学年「立志の集い」が行われました。コロナ禍での実施について慎重に検討されましたが、本校及び地域の感染状況もようやく落ち着いてきたこと及び現会場であれば感染拡大防止の観点からも実施は可能と判断しました。当日の校長挨拶の抜粋を掲載します。

本日、ここに立志式を迎えられた222名の中学2年生の皆さん、おめでとうございます。心よりお祝いを申し上げます。

立志式の由来については、学年の先生方から話があったと思いますが、立志とは、目標を定めてそれを成し遂げようと志すことです。義務教育も残り1年となる皆さんは、今日の日を自分の人生を考える一つの契機とし、将来の自分について考え、自立や責任を自覚する機会にしてほしいと思います。

さて、今、3年生は高校入試真最中です。一月に私立高校の入試が終わり、昨日は県立高校推薦入試が行われました。校長は、普段、直接生徒と接する機会はあまり多くはないのですが、この時期は少し違います。

高校入試には面接があります。ここ最近は、授業中、昼休み、放課後の時間をつかって、模擬面接の面接官をずっと行っています。面接の練習で、たくさんの3年生と接しています。素晴らしいですよ。あの真剣な姿、表情。あの3年生が?本当に皆さん、きっとびっくりすると思います。

みなさん宮崎県の県立高校入試は昨年度から大きく変わりました。推薦入試が自己推薦という形に変わりました。それまでは中学校長の推薦が必要だったわけですが、それがいらなくなりました。

これによって、何が起こったか?

各高校は、これまで以上にアドミッションポリシーを明確にしなければならなくなりました。

「アドミッション・ポリシーって何でしょう?」「アドミッション・ポリシー」とは、簡単にいうと、どんな生徒に入学してほしいかを示した、高校からのメッセージです。自己推薦方式になり、各高校は、これまで以上に、「私たちの高校は、このような生徒を求めています」としっかり意思表示しなければならなくなったわけです。ですから、各高校によって、それぞれの高校が求める生徒像によって、学力検査や適性検査の内容、配点等が違うわけです。

そして、その内容をよく見ると、ただ単に覚えたものを答える力だけでなく、これからの時代を生きていくために必要な力、思考力(自分の頭で筋道を立てて考える力)や表現力(相手に正確に何かを伝える力)をこれまで以上に問うものになってきています。

受検生、中学生は、それをふまえて、自分の得意分野や長所、進学目的等を積極的に高校側

にアピールして受検するという形に変わったというわけです。

「自立」「感謝」「貢献」

いつも皆さんにお願いしている3つのことですが、まずは「自分の頭」で考えることがスタートです。どうぞこの立志式を機にもういちど、自分のことを振り返ってください。自分のこれまでを見つめ直して、自分の頭で考えて、適切に判断して、そして行動して「自立」に向かってください。

このあと、生徒は各学級順にステージに上がり、一人ずつ自分の「決意表明」を行いました。それぞれの決意が色紙に漢字で堂々と書かれてあり、個性が感じられる素晴らしいものでした。(自分の名前の一部を色紙に書いている人が結構いましたね。保護者はうれしかったと思いますよ)

その後は、「森 億」(もり はかる)氏による記念講演。森氏の講演テーマは「自立を育むマインドセット」。立志式にピッタリのテーマで、とても興味深いものでした。生徒も保護者の方も考えさせられる内容だったのではないのでしょうか。おもしろかったですね。ぜひ、これからは活かしてください。



プレゼンコンテストが行われました。

2月4日(土)ウエルネス交流プラザ ムジカホールにおいて第1回都城市小・中学生プレゼンコンテストが開催されました。テーマは自由で端末を活用しプレゼン発表を行うもので、一次審査を通過した小学校5校、中学校5校の代表者が会場で本戦に挑みました。本校からは3年生3名(嵐さん、堺さん、千代反田さん)がチームを組んで参加、素晴らしい発表で優秀賞に選ばれました。1,2年生で興味のある人は、来年度(開催されれば)ぜひ挑戦してみたいはいかがでしょうか。期待しています。

ボランティア・フェスティバルに参加しました

2月5日(日)にまちなか広場で開催された「みやこんじょボランティアフェスティバル 2023」に本校生徒会執行部6名と2年生の大曲さんが参加しました。(大曲さんはメイン司会!)これは、社会福祉協議会からの依頼を受け、執行部が参加を決断。本校としては初めて(?)のフェスティバル参加となりました。当日は、会場内に妻ヶ丘中のブースが設けられ、そこで来場者に「ありがとう」と思ったことを記入して作り上げる「ありがとうの木」やシトラスリボンの作り方を教えるワークショップを行いました。



コロナ禍の影響で実に3年ぶりの開催となった本イベントでしたが、まちなか広場は大盛況。またイベントを通して社会福祉に関わるNPOや団体、大学や高校そして他の中学校との交流もできました。今後もボランティアを通じた活動の輪がさらに広がっていくことを期待しています。